

見積仕様書

第1節 業務概要

本業務は、過年度に重力式コンクリートダムのゲート門柱において実施した弾性波トモグラフィ法によるコンクリート健全性調査での解析結果をもとに、解析条件の見直しに伴う解析結果の修正等を行うものです。

第2節 業務内容

2-1 三次元弾性波トモグラフィ解析結果の修正

1. 過年度業務において、「2018年制定コンクリート標準示方書（維持管理編）」（土木学会）に示す弾性波トモグラフィ法により行ったダム門柱コンクリートの健全性調査結果をもとに、コンクリートの健全部と不健全部を区分する閾値の見直しした解析を行い、三次元モデルのセンター図（弾性波速度分布図）の修正を行います。
2. 貸与するデータは、Voxler（Golden Software 社）で作成した三次元弾性波トモグラフィ結果（VOXB ファイル）です。

なお、過年度の解析結果に関しては、各測点間や複数のセンターで合成する際のデータ補間を Voxler のソフト内の演算処理方法である逆距離加重法（IDW）により解析を行ったものになっています。

3. 三次元モデルのセンター図で表示された解析結果について、ダム門柱の健全性評価を行ううえで主要な箇所を切断した二次元表示のセンター図（弾性波速度分布図）を作成します。二次元表示のセンター図の作成は、10 断面を想定しています。
4. 解析に用いる閾値および閾値のケース数、二次元表示のセンター図の作成箇所は、発注者が指示します。

2-2 相対動弾性係数分布図の作成

1. 過年度業務で行った弾性波トモグラフィ解析結果で得られた解析モデルの各セルの解析値（弾性波速度）をもとに、三次元モデルのセンター図（相対動弾性係数分布図）を作成します。
2. 相対動弾性係数は、健全部の弾性波速度に対する弾性波トモグラフィ法で得られた弾性波速度（解析値）の二乗比により算出するものとします。
3. 三次元モデルのセンター図で表示された解析結果について、ダム門柱の健全性評価を行ううえで主要な箇所を切断した二次元表示のセンター図（相対動弾性係数分布図）を作成します。二次元表示のセンター図の作成は、10 断面を想定しています。
4. 解析に用いる健全部の弾性波速度の値および健全部の弾性波速度のケース数、二次元表示のセンター図の作成箇所は、発注者が指示します。

第3節 成果品

1. 次の成果品を提出するものとする。
 - (1) 電子媒体（DVD-R等）1式（2部）
2. 成果品には、VOXB ファイルを含むものとする。

—以上—